

平成30年度事業報告 広報部
全体として、順調。各種投稿等に感謝いたします。

1、「弓道石川」の発行

第108号 5/19製本配布

第109号 8/18製本配布

第110号 11/17製本配布

第111号 3/16製本配布

製本配布は、理事会開催日に実施。理事各位に製本のご協力頂きました。感謝いたします。
今までは印刷を宮本事務局長にお願いしていましたが、今年度から広報部員が印刷をしています。

2、全弓連機関紙「弓道」ちれん発インフォメーション原稿の編集・投稿

8月号からのリニューアルにより、5月末投稿分（7月号）投稿で終了

3、県連ホームページ

4/1～3/10の期間で254件更新

レスポンスデザインの取り組みを行った。一部公開し意見を求めたが何も回答をいただけなかった。
来年度の本格導入を検討したが、部員のスキル・HPの継続性等を考慮し断念する。

4、広報部員の拡大&広報部会

広報部は入部希望の少ない部として次の3項目を継続実施し、HP関係の育成期間を一年間として、
一年後から本格的に参画することとしている。順調に育成され、活躍している。

① 広報部=何か記事を書かなければならないというイメージ・実際は書かない（これが最大）⇒払拭

② HPを作るスキルがないから無理⇒一年の育成期間で、確実にスキル付与。

③ 広報部では、弓道そのものが上手になるわけではない⇒弓道研修会の実施、
今年度は現時点で未実施であるが、射技・体配の相互研修をする。

自宅にパソコンが無い人も、県武にて弓道石川の編纂作業を行っている。

広報部会は、4.21と1.5に2度開催し、部員の親睦を深め意見交換を行った。